令和８年度

# 湖南農業高等学校　学校評価

**本年度の重点目標**

・主体的な個性の伸長や生涯にわたる学び方の習得を図るため、学習の基礎・基本の確実な定着と先進的な専門教育を推進する。
・基本的な生活習慣の確立を図り、自主的・自律的な態度と社会性を育む教育活動を展開する。
・幼・小・中学校・大学・行政機関・地域社会等との連携を図り、地域に開かれた信頼される学校づくりに努める。

| 領　域 | 重　点　評　価　項　目 | 中間評価(10月) | 総合評価（３月） | |
|---|---|---|---|---|
| | | 自己評価 | 自己評価 | 学校関係者評価 |
| 1　学校経営 | 経営の重点や教育目標が明確であり、その実現に向けて教育活動を展開している。 | A | | |
| | 生徒や保護者、地域の期待やニーズに応える特色ある教育活動を展開している。 | A | | |
| 2　学習指導 | シラバスに基づく学習指導を実施し、基礎・基本の定着を図っている。 | A | | |
| | わかる授業づくりに向け、常に指導力向上と授業改善に努めている。 | A | | |
| 3　生徒指導 | 全教職員の共通理解の下、適切に基本的な生活習慣の確立を図る指導がなされている。 | A | | |
| | 問題行動発生時や緊急時に、組織的に対応できる指導体制が整っている。 | B | | |
| | 「いじめ」の未然防止や早期発見に努めている。 | A | | |
| 4　進路指導 | 望ましい勤労観・職業観を育成するため、学年に応じた適切な進路指導に努めている。 | A | | |
| | 主体的な進路選択ができるよう、企業開拓や相談体制整備がなされている。 | A | | |
| 5　特別活動等 | 生徒の実態や学年段階に応じた学校行事やＨＲ活動を設定している。 | A | | |
| | 生徒が主体的に学校行事やＨＲ活動等に参加できるように指導・助言している。 | A | | |
| 6　学校図書館 | 昼読書や情報発信を通して、読書への興味を高めている。 | A | | |
| | 各教科・学年と連携をとり、調べ学習や特別活動等で図書館を活用している。 | B | | |
| 7　保健・安全指導 | 生徒の健康管理と病気の予防に努めている。 | A | | |
| | 生徒の事故・怪我・病気等への対応が適切に行われている。 | A | | |
| 8　人権教育 | 望ましい仲間［集団］づくりや学級・学校づくりに努めている。 | A | | |
| | ＬＨＲなどあらゆる教育活動を通して、人権意識を高める指導を行っている。 | A | | |
| 9　環境教育 | 農業教育等において、積極的に環境教育を行っている。 | A | | |
| | 環境保護の観点で、ゴミの減量化、光熱費・水道費の節減に努めている。 | B | | |
| 10　事務・管理 | 施設・設備等の点検を計画的に行い、適切に管理している。 | A | | |
| | 事務室の職務内容が全職員に共通理解されるよう努めている。 | A | | |
| 11　その他<br>学校の取組 | 農場を地域等の学習活動の場や地域への学習成果発表の場として活用している。 | A | | |
| | 外部との連携を深めることにより、専門教育（農業クラブ等）の充実と活性化を図っている。 | A | | |

（注）・評価表の見方：　６月　学校の教育目標に基づいた重点評価項目の公表
１０月　中間評価（自己評価）の公表（８月までの教育活動に対する中間評価）ＡＢＣＤの４段階評価で示す。
３月　総合評価（自己評価・学校関係者評価）の公表（年間の教育活動に対する総合評価）ＡＢＣＤの４段階で示す。

・自己評価は教職員による評価。学校関係者評価は、保護者・学校評議員等より構成された評価委員会等が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。

・ＡＢＣＤの基準については、評価項目の内容が、十分に達成できた場合（達成度80%以上）はA、おおむね達成できた場合（達成度60%以上80%まで）はB、
あまり達成できていない場合（達成度40%以上60%まで）はC、達成できていない場合（達成度40%未満）はDとする。

学校のＵＲＬ：https://www.konanno-h.shiga-ec.ed.jp/